



①自分からあいさつしていますか？ ②人の話を聞けますか？ ③あなたは夢をもっていますか？

平成 29 年 5 月 29 日 主幹

「キャリア通信」はじめます！

一昨年度はキャリア教育を教育課程に位置づけることができました。ご存知の通り、改めて各教科の単元のように取り立てなくても、これまでの学習内容をキャリア教育の視点をもって指導することで4つの基礎的・汎用的能力を養うことができます。

今年度は、各教科・領域と「おびひろっ子絆支援事業」の体験学習がキャリア教育のどのような能力をつけることができるのか、またはつけることができたのかを「キャリア通信」でお知らせして、日頃の実践とキャリア教育を結びつけていきます。

担任の先生方の発行する学級通信の中にもキャリア教育として参考にしたい実践がたくさんあります。皆さんに紹介させていただくことで、キャリア教育とのつながりや理解を一層深めていきたいと思っています。ご協力をお願いします。

一生続くよ キャリア教育!!

もう一度、確かめます！

《キャリア教育で何を育てる？》

キャリア教育はよく「生き方教育」と言われます。決して、進学指導や職業指導ではありませんし、社会人になれば終わりというものでもありません。キャリア教育の定義は『一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育』となっております。では、キャリア発達とは何かかというと『社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程』です。自分らしい生き方をするための手立てとして、「学ぶこと」や「働くこと」があるということです。定年退職してからも当てはまり一生続きます。キャリア教育で育成したい4つの能力は以下のようになっています。

《キャリア教育で育成する「基礎的・汎用的能力」とは…》

◇人間関係形成・社会形成能力 具体的な要素 (例)	◇自己理解・自己管理能力 具体的な要素 (例)	◇課題対応能力 具体的な要素 (例)	◇キャリアプランニング能力 具体的な要素 (例)
<ul style="list-style-type: none">・他者の個性を理解する力・他者に働きかける力・コミュニケーションスキル・チームワーク・リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none">・自己の役割の理解・前向きに考える力・自己の動機付け・忍耐力・ストレスマネジメント・主体的行動	<ul style="list-style-type: none">・情報の理解・選択・処理等・本質の理解・原因の追究・課題発見・計画立案・実行力・評価・改善	<ul style="list-style-type: none">・学ぶことや働くことの意義や役割の理解・多様性の理解・将来設計・選択・行動と改善

次号の内容は「具体的な実践について」です。

